

## 令和5年度 吉川市立関小学校 学校公開用

この学校評価は、学校の現状やこれまでの努力とその結果を公表し、家庭・地域にお知らせするとともに、今後の取り組みに向けて家庭・地域の理解や連携協力をお願いするものです。

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	評価に対する学校の説明・考察
1	学校は、学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	4	ひとり立ちできる子の育成に向け、教職員一人ひとりが「熱意・誠意・創意」をもって教育活動を実施した。アフターコロナを考慮した行事も実施することができた。	4	学校教育目標「ひとり立ちする子」の育成に向け、学習活動や行事等に取り組んだ。引き続き、保護者・地域に対し、連携協力をお願いを要請していく。
2	教職員は、PDCAサイクルのもとと教科指導や学級経営・校務分掌にあたっている。	4	学校評価や各種児童アンケートをもとに計画を立て、教育活動を実施した。学期末には教育課程の実施状況調査や計画の再構成を行い、状況に応じた指導が展開できた。	4	本評価を活用した教科指導・学級経営・校務分掌にあたった。明らかになった課題に対しては、今後も校内で検討し、来年度の教育計画に反映させていく。
3	学校は、事故やトラブルに対してのマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	4	危機管理マニュアルを改定し、事前・事後の危機管理に注力し、迅速に対応可能な態勢を整えた。大雨や熱中症、降雪による危機に対し、事前対応できた。	3	近年、熱中症や大雨等、学校安全に関する課題は多岐に渡っている。引き続き、迅速に対応できる組織体制を整えていく。教職員全体で事故やトラブルに対して認識を高く持ち続けていく。
4	学校は、清掃活動や掲示物等に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	4	各清掃場所の担当職員が清掃指導を粘り強く指導した。また、季節に合った掲示を行い、環境整備に努めた。さらに執務しやすい環境を整えるため、校内の備品等を一斉整理した。	4	清掃活動に力を入れ、校内の環境美化に努めた。今後も、児童が学校生活をよりよく送ることができるよう校内清掃や整理整頓に注力していく。
5	学校は、小中の連携を図り、小中一貫教育を推進している。	4	8月、10月、2月に小中一貫教育研究協議会を実施した。9年間を見通した児童生徒の育成を目指し、キーワードを「主体性の育成」と「探究的な学びの推進」とした。	3	中1ギャップ解消に向け、小中で連携した事業（交換・交流授業）を実施した。今後は本取組をホームページ等で情報発信し、保護者・地域への理解や協力を求めていく。
6	教職員はPTA活動や地域の活動に積極的に協力し、地域の人材を活用した学習活動を積極的に行っている。	4	PTAと連携協働し、アドバンスクラブ（飯盒炊爨やスポーツ教室、折り紙教室）を3年ぶりに実施することができた。子供たちの居場所づくりに貢献できた。	4	学校・保護者・地域が連携し、3年ぶりにアドバンスクラブを開催することができた。なまず学習やスーパーマーケット見学など、地域の特色を活かした学習を行えた。
7	学校は、学校の様子や成果を「学校だより」やホームページ等を活用し、積極的に情報提供している。	4	学校だよりで教育活動の様子や校内行事を周知し、情報発信した。また、ホームページや連絡アプリを通して児童の様子を随時発信した。保護者地域の連携を強化できた。	4	学校だよりやホームページ、連絡アプリ等を活用し、児童の学校生活の様子を発信することができた。宿泊行事では、児童の活動をこまめに情報発信することができた。
8	学校は地域の人材を活用するなど、保護者と地域が連携した教育活動を推進している。	4	読み語りボランティアや遊具のペンキ塗りなど、教育活動の充実を図るための連携協働を図ることができた。今後も継続していく。	3	読み語りボランティアや環境学習など、地域の人材を活用した教育活動を推進することができた。多様な学びを展開していくための協力要請を今後も引き続き行っていく。
9	児童生徒は、落ち着いて学習に取り組む、学習内容を理解しようとしている。	3	多くの児童は落ち着いて学習に取り組み、学習内容を理解しようとしている。課題となっている児童に対しては、引き続き学習環境を整え、粘り強く指導を続けていく。	3	学校と家庭で連携し、学習規律（学習用具を整えるなど）の定着に努めた。また、家庭学習の充実が学習内容の理解につながっていることから、今後も家庭学習の協力要請を行っていく。
10	教職員は、学力向上を目指し、PDCAサイクルのもと、児童生徒の実態に基づいた授業改善に努めている。	4	埼玉県学力学習状況調査結果を分析し、個に応じた学習計画を立て、授業改善を行った。また、児童の最適な学びを構築すべく、探究的な学びを展開した。	3	学力向上を目指し、授業改善や家庭学習の充実、各学力調査結果の分析にもとづいた教育活動を展開した。今後も児童の実態に即した授業改善に努めていく。
11	教職員は一人一台端末を積極的に活用し、ICT活用を推進している。	4	すべての学年において、情報端末を積極的に活用し、協働的な学びを展開することができた。ICTを活用したことで児童の多様な学びを構築できた。	4	情報端末を活用し、児童の豊かな学びを展開できた。今後も、目の健康や情報モラルに留意しながら情報端末を効果的に活用していく。
12	学校は学習ルールを定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。	4	2分前着席や目・耳・心で人の話を聞くなどの学習規律を学級ごとに設定し、指導にあたった。また、「学びの主役は子ども」の合言葉を念頭に、従来の一斉授業型から対話型の学びに転換した。	4	2分前着席や話の聞き方など、学習ルールを定め、学習指導を徹底した。学習ルールの理解について、今後も学校・家庭・地域で共通理解を図っていく。
13	児童生徒は、友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、正しい言葉づかいをしたりすることができる。	3	教職員や来校者に進んであいさつすることが概ねできている。しかし、友達に対しての言葉遣いに課題があり、人権教育や道徳教育、生徒指導の充実が課題である。	3	教職員や来校者に対し、校内においては進んであいさつすることができた。しかし、校外において、地域の人にあいさつすることに対して課題が残った。
14	児童生徒は学習のルールや生活のきまり・時間を守ることができる。	3	多くの児童は学習のルールや生活のきまり・時間を守って学校生活を送ることができている。課題となっている児童に対しては、引き続き学習環境を整え、粘り強く指導を続けていく。	4	話を最後まで聞くことやチャイム行動など、多くの児童がきまりを守って生活することができた。引き続き、学習ルールや生活のきまりの指導の徹底を図っていく。
15	児童生徒はいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合って、学校生活を送っている。	3	人権教育や道徳教育を充実し、互いのよさや努力、多様性を認め合える人間関係を構築を目指していく。また、協働的な学びを展開し、ともに支え合う喜びを味わわせていく。	3	学校生活アンケートを各学期に実施し、いじめや意地悪な行為の有無についての実態調査を積極的に実施した。道徳教育や人権教育を軸に、互いのよさや努力を認め合う人間関係の構築を目指していく。
16	教職員は自ら手本となるなど、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	4	教職員も規範意識を高め、児童の手本となるよう引き続き、努力していく。児童に指導する際は、対話中心型の指導を心がけ、規範についての大切さを児童自ら気づいていけるようにする。	4	教職員が自ら進んであいさつをしたり、校内美化に努めたりして規範意識を高める指導の充実を図った。引き続き、保護者・地域に協力要請し、児童の規範意識の向上を目指していく。
17	児童生徒は、体力向上に向け、体育の授業や部活動または外遊びに意欲的に取り組んでいる。	4	体力向上に向け、楽しい体育授業の実施や体育朝会、外遊びを充実することができた。多くの児童が心と体の体力について考えることができた。	3	する・見る・知る・支えることを大切に体育授業を推進し、児童自ら健康を保持増進する児童を育成することができた。引き続き、体育授業の充実を目指していく。
18	学校は、生徒の健康管理および食育に関する意識を高めようとしている。	3	栄養教諭による栄養指導、外部講師による健康指導、毎日の健康観察、養護教諭による保健指導など、多くの健康教育を展開することができた。	3	学校保健委員会の実施や保健だより、給食だより等を通じて健康に関する情報や食育の大切さについて情報発信した。引き続き、健康や食育についての啓発を実施していく。
19	学校は、児童生徒の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切に、児童生徒に寄り添った対応をしている。	4	児童の話や願いを最後までよく聞き、寄り添った対応をした。児童の「ひとり立ち」を目指し、発達支持的指導を心がけた。	3	児童の話をよく聞き、心情や願いに寄り添った対応をした。また、多様な相談窓口としてさわやか相談員との面談や相談の機会を設けた。きめ細やかな教育相談体制を構築した。
20	学校はいじめや不登校をなくすため、児童生徒の指導の充実を図っている。	4	生徒指導課題についてスクールカウンセラーや相談員等、組織的な指導体制を構築することができた。また、多様な学びを支える場（校内教育支援ルーム）としての「COCOLOルーム」の創設に向けた話し合いを校内で実施した。	3	学校生活アンケートを実施し、いじめや不登校についての実態調査を行った。また、いじめ防止等のための基本方針を改定し、ホームページに公開した。